

じんけんの風

JINKEN NO KAZE

2020 AUTUMN

秋号

vol.40

宮崎県人権啓発
シンボルマーク

宮崎県人権啓発センターだより
「人権」とは、人間らしく幸せに生きるた
めの権利。だれにとっても身近で大切な
ものです。思いやりの心をもって、みん
なで「じんけんの風」を吹かせましょう。

「ありがとう」

あふれる

このまちが好き

STOP! コロナ差別

特集

新型コロナウイルス感染症と人権

- じんけんinterview
宮崎県精神保健福祉センター所長・精神科医 直野慶子さん 3
- ひとりで悩んでいませんか?
「女性に対する暴力をなくす運動」 4
- ひとりで悩まないで!誰かに話してみませんか? 5
- 世界エイズデー 6
- ハンセン病患者等に関する人権 7
- いちはやく
189 知らせて守る こどもの未来 8
- 12月10日から16日までは
「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です 9

- 障がいのある人の
生涯にわたる学びの機会の充実に向けて 10
- 子どもたち同士で助け合って、支え合って
～ピア・サポート活動の推進～ 11
- 犯罪被害者週間 12
- 性的マイノリティと人権
～性の多様性を正しく知ることが大切です～ 13
- 人権啓発パネル展・わたしたちの人権講座 14



コロナ差別

新型コロナウイルス感染症と人権

新型コロナウイルス感染症は、病気そのものに対する不安や恐れとともに、不当な差別や偏見という問題を生み出しています。今回は、コロナ禍における差別や偏見をなくす活動に取り組む団体等を訪ねました。不安や恐怖を乗り越え、みんなが明るく笑顔で暮らせる社会について考えてみましょう。



全国的に、新型コロナウイルスに感染された方や医療従事者などへの不当な偏見や差別の事例が発生しており、残念ながら、本県でも、同じような状況が見受けられます。

感染するリスクは誰にでもあり、また、感染経路も様々です。ひょっとしたら、次は「あなた」または「あなたの大切な人」が感染してしまうかもしれません。そして、感染された方は、ショックを受けて大変つらい思いをされています。もしもあなたの大切な人が傷つき悲しんでいたら・・・と想像してみてください。

そんな中だからこそ、「偏見ではなく共感を」との姿勢で、感染された方の心情や人権に配慮し、責めたり非難したりするのではなく、優しくサポートしていく取組が求められています。

集団感染が発生した県内の高齢者施設で、心が折れそうになりながら、まん延防止に懸命に働く職員に、手紙や電話で温かい言葉が寄せられ、苦しい状況を乗り越えていく大きな力を与えてくれたという報道がありました。

思いやりがあり、心優しく、温かい太陽のような県民性は、本県の素晴らしい財産です。コロナに負けずに、「思いやり」と「優しさ」あふれる県民の総力を結集し、感染された方々や医療や物流等、日常生活を支えているエッセンシャルワーカーの方々にエールを送りながら、この困難な状況を乗り越えていきましょう。

今回は、そうした活動に取り組む県民の皆さんの特集です。

topic 子どもたちに正しい知識と心のケアを

国立成育医療研究センターが行った調査(7~17歳の6800人/6月~7月26日)によると、32%の子どもが自分や家族が感染した場合「秘密にしたい」と答えました。また感染して治った子どもに対しても「あまり一緒には遊びたくない」と回答した子どもが22%に上りました。こうした意識は差別や偏見につながるおそれがあります。周囲の大人が正しい知識を伝えるとともに、子どもたちの不安に耳を傾けることが大切です。

戦う相手は
「ウイルス」

感染された方への
思いやりを

偏見ではなく
共感を

ただいま、おかえりって 言いあえるまでに

(一社)宮崎県トラック協会
「シトラスリボンプロジェクト」

3つの輪をかたどったシトラス(柑橘類)カラーのリボンをつけ、思いやりの輪を広げて、新型コロナウイルスの感染者や医療従事者への差別をなくそうという「シトラスリボンプロジェクト」。愛媛県の有志グループから始まったこの運動に賛同した本県トラック協会では、口蹄疫のときに宮崎ナンバーの車が差別を受けた経験から、会員企業が現在約50台のラッピングトレーラーを全国に向けて走らせています(1台は協会敷地内に展示)。

同協会の牧田信良会長は、「協会としてはマスクや手洗い、うがいを徹底していますが、県をまたいで移動するドライバーの家族に対して、学校や保育園に来るのを控えてほしいという声もありました」と言います。「つらい思いをしている感染者やその家族を少しでも元気づけたい。こんな苦しいときこそ、相手の立場に立って、みんなで乗り越えていかないといけないと思います」と取組についての思いを語られました。

また、同協会では、ポスター1,500枚、ステッカー1,000枚を作成し、関係機関に配布したり、トレーラーに貼って走らせるなどの取組も行っています。同協会のほか、(株)ソラシドエアでは乗務員の胸にシトラスリボンを着用し、宮崎カーフェリー(株)では横断幕を作成してターミナルに掲示するなど、それぞれ取り組んでいます。シトラスリボンでやさしい人の輪を広げていきたいですね。



シトラスリボンの3つの輪は、「地域」「家庭」「職場(または学校)」の象徴



「相手の立場に思いを馳せることが大事」と牧田会長

差別やいじめを絶対にしません、 させません、許しません!



高岡中学校生徒会の皆さん

宮崎市立高岡中学校生徒会
「高岡から差別・いじめを追放しよう宣言」

県内でもクラスターが発生し、緊張が走った今年7月、高岡中学校生徒会では、「高岡から差別・いじめを追放しよう宣言」を作成し、感染者の特定や誹謗中傷の排除を広く町民に呼びかけました。

もともと、同校では、いじめを減らすための活発な活動を行っていましたが、コロナによって住民同士の絆が失われないようにしたいと「感染された方を特定し誹謗中傷するようなことは絶対にしません、させません、許しません」と独自の宣言文を作成したのです。

作成した生徒たちは、猛暑の中、2人1組で町内40カ所の事業所や店舗を回り、ポスターを配り、掲示してもらいました。地域の人とのふれあい・絆づくりの機会にもなりました。同校の渡部一博校長は「町内で感染者が発生する前にぜひ取り組みたいと思っていたところ、生徒たちが進んで訪問先リストやルートを作成し、動いてくれました」と言います。生徒会の皆さんは「日頃からいじめや差別について考えておけば、今回のような非常事態が発生しても落ち着いて対応できることを学びました。今後もこの取組をさらに発展させ、いじめや差別のない明るい学校・住みやすい高岡を作っていきます」と力強く語ってくれました。

困ったときは相談を

●新型コロナウイルス感染症に関する「心のケア」の相談窓口

☎0985-27-5663(宮崎県精神保健福祉センター内)

相談日時/月～金曜日(祝日、年末年始を除く)8:30～17:15

●みんなの人権110番(全国共通人権ダイヤル)

☎0570-003-110

受付/平日8:30～17:15

●宮崎県人権啓発センター人権相談

☎0985-26-0238

受付/平日9:00～17:00

●法務省インターネット人権相談 ▶▶▶



心の健康を保つには 生活リズムと人とのつながりが大切

宮崎県精神保健福祉センター所長・精神科医

直野 慶子さん

コロナに関する「心のケア」相談窓口を設置する県精神保健福祉センターの所長で、精神科医でもある直野慶子さんに、県内の相談状況、「コロナうつ」について、心のケアのために気をつけるべきことについて伺いました。

Q コロナ禍の影響で、心の不調を訴える人が増えています。県内の状況は？

県内でのコロナ関連の相談は、3月まではほとんどありませんでしたが、学校の休校が長引いてきた4月は56件。5月は19件、6月は16件と減少したものの、県内で感染が相次いだ7月は21件、8月は39件に上昇。9月以降は落ち着いています。

相談内容も当初は漠然とした不安を訴えるものでしたが、ゴールデンウィーク以降、人の動きが出てきてからは「県外から家族が帰ってくるが大丈夫か」「外出の際、どこまで対策をしたらいいか」「家族の生活リズムが変わりストレスを抱えている」など、より具体的な相談が多くなりました。なかには、自身や身近に感染した人がいる方から、「職場でつらい言葉を向けられた」「タクシーの乗車を断られた」などの相談もありました。

「コロナうつ」という言葉が聞かれるように、感染への恐れや急激な環境の変化によるストレスが原因で、心身にさまざまな不調が現れる人が出てきています。ひどくなると社会生活や日常生活に支障をきたしかねません。心の不調は、重症化するにつれ自分自身で気づくことが難しくなりますので、家族や親しい人が気をつけてあげることが大切です。眠れない、食欲がない、気分が落ち込む、普段は楽しいことが楽しめない……などのサインが見られたら要注意。子どもの場合、赤ちゃん返りしたり、口数が少なくなる、落ち着きがなくなるなどが見られます。また、身体的サインとして、めまい、吐き気、腹痛などが現れることもあります。医療機関を受診しても原因が分からない場合は、心の病を疑ってみることも必要です。人によっては、アルコールやインターネットなどの依存症が悪化する場合もあるでしょう。

Q 感染した人等への差別や誹謗中傷は何故起きるのでしょうか。対策は？

人は、未知のもの、目に見えないものに不安や恐れを抱きます。脅威から自分自身を守るために自己防衛本能が働き、ウイルスという見えない敵のかわりに特定の誰かを見える敵とみなして攻撃し、つかの間の安心を得ようとします。たとえば、マスクをしていない人を過剰に責めたり、県外ナンバーの車に嫌がらせをしたり。医療従事者や保健所職員らが差別や誹謗中傷を受ける事例もあり、それではかえって必要な対策がとれなくなってしまう。

怒りの感情をコントロールするには、まずは一呼吸おいて、

リラックスするように心がけましょう。また、誤った情報に踊らされず、信頼のおける情報を得る努力も大事です。日本赤十字社では、ウイルスによる感染を第1の感染とするなら、そこから生まれる“不安や恐れ”を第2の感染、さらにそれが社会全体に広まる“差別や偏見”を第3の感染として、不安に乗っ取られないようにすることが重要と呼びかけています。

Q 新しい生活様式の中で、心の健康を保つ方法を教えてください

今回のような非常事態の下で普段と異なる生活を強いられる場合でも、なるべくいつも通りの規則正しい生活を送りましょう。睡眠や食事の時間も普段通りに。外出できなくとも太陽の光を浴びたり、適度な運動を行うことが効果的です。また、インターネット等で不安をあおるような情報に過度にさらされると、心の健康を乱してしまいます。必要な情報はしっかり得つつ、情報過多にならないよう距離を置く時間も必要でしょう。

ソーシャルディスタンスはあくまで身体的距離を保つことです。心の距離まで離れてしまうと、孤立し、うつや自殺につながることも考えられます。コロナの影響で職を失う人も出てきていますが、失業率が1%増えると自殺者が4000人増えるとも言われます。身体的距離をとりながら、電話やメール等で声をかけあい、人と人とのつながりを保つ新しい方法を見つけましょう。

当センターでは、新型コロナウイルス感染症に関する「心のケア」相談窓口を設置しています。保健師や心理士等の資格を持つ専門の職員が電話でお話を伺い、必要に応じて面接相談や精神科医師による診療相談につながります。悩みは一人で抱え込んではいけません。自分だけで思い悩まず、身近な人でも、公的な相談機関でも、誰かに相談してみましょう。



宮崎県精神保健福祉センター
新型コロナウイルス感染症に関する「心のケア」相談窓口
TEL.0985-27-5663
月～金曜日（祝日、年末年始を除く）8:30～17:15
<http://seihocenter-miyazaki.com/>

ひとりで悩んでいませんか？

「女性に対する暴力をなくす運動」

配偶者やパートナーからの暴力(ドメスティック・バイオレンス(DV))、性犯罪、人身取引、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為など、女性に対する暴力は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害です。

暴力そのものは、性別やお互いの間柄を問わず、決して許されるものではありませんが、特に、女性に対する暴力の根底には、「女性は男性に従うもの」、「理由があれば暴力をふるっても仕方がない」など、女性の人権を軽視する気持ちがあるとされています。

あなたとパートナーとの関係は大丈夫？

昨年度(令和元年度)、県内市町村の女性相談窓口、県女性相談所、県警察本部及び県男女共同参画センターに、あわせて2,763件ものDVに関する相談が寄せられています。

暴力には、身体的な暴力だけでなく、精神的・性的暴力なども含まれ、それらが複雑に絡み合って被害者の心と体を傷つけます。

あなたの夫やパートナーに当てはまるものはありますか？

このような徴候があると要注意です。

- ☐ 些細なことで怒鳴ったり、物に当たったりする
- ☐ 人が傷つくことを平気で言う
- ☐ 自分の予定を優先させないと無視したり、不機嫌になる
- ☐ 電話の着信履歴やメールをチェックする
- ☐ 「何してる?」「誰と会う?」などと行動を制限する発言が多い
- ☐ 相手の意見を聞かずに、自分勝手に物事を決める
- ☐ 思い通りにならないと、怒鳴ったり責めたりおどしたりする
- ☐ 殴るふりをしたり、叩いたり蹴ったりする
- ☐ 無理やり性的な行為をする
- ☐ 避妊をしない
- ☐ 勝手に借金を重ねる



暴力は、繰り返されエスカレートする傾向があります。

暴力をふるわれていい人など一人もいません。

逃げる機会や気力を失ってしまう前に、一人で悩まず勇気を持って信頼できる人や専門機関に相談してください。

私たち一人ひとりが、男女が共に尊重し合う意識や「暴力は許さない」という意識を持ちましょう！

もしあなたが相談を受ける場合は、否定をせず相手の気持ちへの共感を心がけることで、被害者の力になってください。

相談窓口
秘密厳守・相談無料

相談機関	電話番号	相談時間
宮崎県女性相談所 (配偶者暴力相談支援センター)	☎0985-22-3858	月～金 9:00～20:30 土・日 9:00～15:00 (祝日・年末年始を除く)
警察安全相談	警察本部 ☎0985-26-9110 (短縮ダイヤル#9110) または各警察署	終 日
宮崎県男女共同参画センター	☎0985-60-1822	月～金 9:00～17:00 土 9:00～16:30 (祝日・年末年始を除く)

DV相談ナビ 最寄りの相談窓口
に転送されます

☎0570-0-55210

※緊急時は迷わず110番へ

さぽーとねっと宮崎 [性暴力被害相談電話]

☎0985-38-8300

月～金 10:00～16:00 (祝日・年末年始を除く)

「女性に対する暴力をなくす運動」関連イベントのお知らせ

毎年11月12日から25日までの2週間は「女性に対する暴力をなくす運動」の期間です。

この期間には、女性に対する暴力根絶のシンボル「パープルリボン」にちなんだ県庁本館のパープル・ライトアップや県庁本館、県庁防災庁舎、県立図書館でのパネル展、パープルリボンキャンペーンなどのイベントが行われます。

詳しくは、宮崎県または宮崎県男女共同参画センターのホームページをご覧ください。



県庁本館ライトアップ



ひとりで悩まないで！ 誰かに話してみませんか？

宮崎県では、国、市町村、関係機関と連携し、悩みを抱えた方が必要な支援を受けられるよう、相談支援や広報活動等を展開しています。

厚生労働省「人口動態統計」によると、令和元年に全国で19,425人、本県でも190人の方が自殺により亡くなっています。また、本県の自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)は、17.8と全国で8番目に高くなっています。

誰も自殺に追い込まれることのない地域社会の実現を目指して、今、私たちにできることから始めましょう。



こころの健康に関する相談窓口

こころの電話	☎0985-32-5566 (※1)	高鍋保健所健康づくり課	☎0983-22-1330 (※2)
宮崎県精神保健福祉センター	☎0985-27-5663 (※2)	日向保健所健康づくり課	☎0982-52-5101 (※2)
中央保健所健康づくり課	☎0985-28-2111 (※2)	延岡保健所健康づくり課	☎0982-33-5373 (※2)
日南保健所健康づくり課	☎0987-23-3141 (※2)	高千穂保健所健康づくり課	☎0982-72-2168 (※2)
都城保健所健康づくり課	☎0986-23-4504 (※2)	宮崎市保健所 健康支援課	☎0985-29-5286 (※2)
小林保健所健康づくり課	☎0984-23-3118 (※2)		

※1 月～金曜日(祝日、年末年始を除く) 9:00～19:00
※2 月～金曜日(祝日、年末年始を除く) 8:30～17:15

死にたいくらいつらい気持ちになったときの相談(夜間電話相談)

ライフネット宮崎	☎0985-28-2555	火・木・土曜日	19:00～23:00
宮崎自殺防止センター	☎0985-77-9090	日・月・水・金曜日	20:00～23:00
宮崎いのちの電話	☎0570-783-556	日・月・水・金曜日	21:00～翌朝4:00
		火・木・土曜日	19:00～翌朝4:00

自死遺族のつどい

大切な人の自死について、誰にも話すことができず、長い間、一人で苦しんでいませんか。同じような体験をされた遺族の方々が、安心して語り合い、思いを分かち合える場合があります。同じ悩みや苦しみを抱える仲間との出会いが、あなたの手助けになるかもしれません。 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止する場合があります

NPO法人国際ビフレンダーズ宮崎自殺防止センター

『ランタンのつどい』

開催日：原則として毎月第2土曜日
14:00～16:00
場 所：宮崎県立図書館2階
問合せ：県精神保健福祉センター
☎0985-27-5663
(平日8:30～17:15)

『ランタンのつどいin延岡』

開催日：令和2年11月22日、令和3年2月28日
14:00～16:00
場 所：延岡市民協働まちづくりセンター3階
問合せ：県精神保健福祉センター
☎0985-27-5663
(平日8:30～17:15)

小林保健所

『わかちあいの会』

開催日：毎月第4木曜日
13:00～15:00
場 所：小林保健所
問合せ：小林保健所疾病対策担当
☎0984-23-3118
(平日8:30～17:15)

世界 AIDS DAY エイズデー

WHO(世界保健機関)は、1988年に世界的レベルでのエイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として、12月1日を“World AIDS Day”(世界エイズデー)と定め、エイズに関する啓発活動等の実施を提唱しました。

1996年から、WHOに代わって、国連のエイズ対策の総合調整を行うこととなったUNAIDS(国連合同エイズ計画)もこの活動を継承しているところです。

我が国においてもUNAIDSが提唱する“World AIDS Day”に賛同し、本年度は「UPDATE! 話そう、HIV/エイズのとなりで ～検査・治療・支援～」をテーマに、治療の進歩でHIV陽性者の生活が大きく変わっていることなどの正しい情報を十分に伝えるため、全国で啓発活動等が行われます。

県内では、同時期に「宮崎県エイズ予防・検査普及キャンペーン」を実施し、エイズに関する正しい知識の普及と予防に対する周知、エイズ検査の重要性に関する啓発を行い、エイズまん延防止及び患者・感染者に対する差別・偏見の解消等を図っていきます。



レッドリボン

「エイズに関して偏見をもっていない、エイズとともに生きる人を差別しない」というメッセージを表します。



県庁本館レッドライトアップ

ハンセン病患者等に関する人権

「ハンセン病語り部派遣事業」のご案内

宮崎県では、県民の皆様に、ハンセン病問題についての正しい知識を持ち、理解を深めていただくため、国立療養所星塚敬愛園のご協力をいただき「ハンセン病語り部派遣事業」を実施しています。

この事業は、療養所に在園しているハンセン病元患者の方に、学校や各種団体において、自己の体験に基づいて講演をしていただくものです。

県が窓口となって、講師派遣の手続きや日程の調整、講演にかかる費用の補助などを行っていますので、人権教育や講演の場において、ぜひご利用ください。

※令和2年度事業においては、新型コロナウイルス感染症の流行状況により実施を検討しますので、ご希望の団体におかれましては、下記までお問合せください。

講師 国立療養所星塚敬愛園（鹿児島県鹿屋市）在園者

講師謝金 不要

送迎 不要

派遣対象 学校や各種団体が企画するハンセン病講演会

お問い合わせ 宮崎県福祉保健部健康増進課 がん・疾病対策担当

TEL.0985-26-7079 FAX.0985-26-7336

「ハンセン病患者等に関する人権の作文」

星塚のじいちゃん

（第39回全国中学生人権作文コンテスト法務大臣賞）

宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校三年（当時）

藤原 凜華さん

「星塚のじいちゃんと言ってくれ」かつて、「私にさわらない方がいい」と言って握手を拒んだあなたがそう言ってくれた時、本当にうれしかった。あの時私たちは本当の家族になれたのだ。

私には、キティちゃんと阪神タイガースが好きなおおぢちゃんもいる。彼とは血のつながりはないけれど、それ以上の絆を感じられるすてきな人だ。私は、おじいちゃんに年一回会えるのをいつも楽しみにしている。そのおじいちゃんが暮らしているのは、鹿児島県にある国立療養所星塚敬愛園。そう、おじいちゃんは、国の非道な政策によって家族も故郷も自由に選ぶ人生もすべてうばわれた元ハンセン病患者である。

ハンセン病とは、らい菌に感染することで起きる病気だ。感染力はとても弱く、現代の日本で感染し発病することはほとんどない。しかし、有効な治療法や薬がなかった時代には、顔や手足が変形するというような外見に症状が表われてしまうことから忌避されてきた。また、感染を防止するには患者を隔離する以外にないとも考えられていた。日本では、1931年の癩予防法によってハンセン病患者をハンセン病療養所に強制的に入所させ一生に渡って世間から隔離する政策を行っていた。それだけでなく子どもを持ってなくさせたり、患者の出た家を消毒したり、無らい県運動を進めるなどしてハンセン病は恐ろしい不治の病という誤った認識を国民に植え付けた。この政策のために、治療薬ができ、ハンセン病が治る病気だとわかった後も、ハンセン病患者やその家族は極端な偏見と激しい差別に苦しむことになった。しかもこの政策が終ったのは1996年。そんなに古い話ではないのだ。かく言う私もおじいちゃんに出会うまで何も知らない人間だった。

私がハンセン病について知ったのは、今から五年前、宮崎県主催の「ふれあいハンセン病療養所訪問事業」に参加した時だ。鹿児島県にある国立療養所を訪問し、ハンセン病について正しく知ろうというプログラムだ。園での全体説明のあと、語り部として私たち家族の担当になったのがおじいちゃんだった。彼を見た時、正直私は言葉が出なかった。なぜかという彼は義眼をはめていて、手は爛れ、指がなかったのだ。それだけではなく、ちょっと怒っているような、話しかけにくい雰囲気ももっていたのですます

何を話していいのかわからなくなった。でも、帰るまぎわ、せめて仲良くなりたい気持ちをこめて握手を求めた。しかし、そんな私に彼は「私にさわらない方がいい」と言って、パッと反射的に手をひっこめたのだ。私はその時、なぜ？と複雑で切ない気持ちになった。彼はもうすでに病気が治っている。なのになぜ、と。しかし、少し考えて、彼をそうさせたのは、これまで受けてきたすさまじい差別や偏見によって深く傷つき、その心の傷が行動に表われてしまうものだったと思った。

私たち家族は、彼の心の傷を知り、彼という人の人生について知りたいと思い、今度は元ハンセン病患者のだからではなく個人をたずねることにした。二度目にお会いした時は、過去の歴史を聞くのはもちろん、一緒に歌をうたったり、散策をしたりして打ちつけた時間を過ごすことができた。

それから私たち家族は、毎年おじいちゃんのおばあちゃんの待つ故郷に帰るようになる。

おじいちゃんはずっと誰かとコミュニケーションをとることが苦手な方で写真に写ることも嫌っていた。でも、私たち家族と交流するうちに少しずつ心を開いてくれた。今では、手紙や電話でやりとりしたりもするし、一緒に写真に写ってもらえる。その写真をかざしてもらえる。また、私の中学受験のときには誰よりも合格を祈ってくれた。だから、おじいちゃんから「星塚のじいちゃんと言ってくれ」と言われた時は、私たちが実の子や孫のように思ってくれていることや安心して手をにぎってもいい相手として信頼してくれたのだと思えたのでうれしくてたまらなかった。

これまでのあまりに過酷な経験が彼につけた心の傷は消えることはないでしょう。失った時間や家族をとり戻すことはできないけれど、私たちと新しい時間を重ねることで、おじいちゃんの人生が少しでも笑って過ごせる時間になるようにしていきたいと思う。それは私たち家族にとってもかけがえのないすてきな時間になるでしょう。おじいちゃんが私にくれた喜びを私も家族もそれ以上の喜びにしておじいちゃんにこれからも返していきたい。

おじいちゃん、あなたに会えて本当によかった。



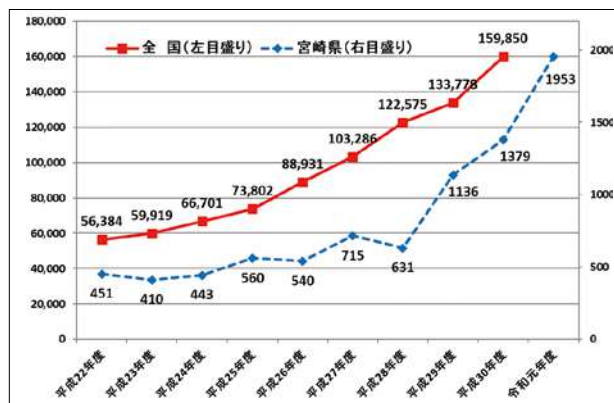
いち はや く 189 知らせて守る こどもの未来

(令和2年度 児童虐待防止推進月間標語)

全国の児童相談所における児童虐待相談対応件数は年々増加しており、平成30年度には約16万件と過去最多となり、県内において、令和元年度は、1,953件と過去最多となりました。

児童虐待は子どもの心や体に深刻な影響を与えるだけでなく、時として尊い命を奪うため、予防や早期発見・早期対応が不可欠です。

国では、毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、全国各地で児童虐待防止のための広報啓発活動が行われています。



体罰禁止！ 2020年4月よりスタート！！

昨年6月に「児童虐待防止対策の強化を図るための児童福祉法等の一部を改正する法律」が可決・成立し、今年の4月より、**保護者がしつけに際して子どもに体罰を加えることが法律で禁止**となりました。

こんなことしていませんか？ これらは全て体罰です！

- ・言葉で3回注意したけど言うことを聞かないので、**頬を叩いた**
- ・大切なものにいたずらをしたので、**長時間正座をさせた**
- ・友達を殴ってケガをさせたので、同じように子どもを**殴った**
- ・他人のものを取ったので、**お尻を叩いた**
- ・宿題をしなかったので、**夕ご飯を与えなかった**

(厚生労働省ガイドライン「体罰等によらない子育てのために～みんなで育児を支える社会に～」より)



体罰・暴言は、子どもの脳の発達に深刻な影響を及ぼします。

脳画像の研究により、子ども時代に辛い体験をした人は、前頭前野が萎縮するなど、脳が傷ついていることが報告されています。

? 子どもが言うことを聞いてくれないとき! どうしたらいいの? ?

- POINT 1** 子どもの気持ちや考えに耳を傾けてみよう
- POINT 2** 「言うことを聞かない」理由を考えてみよう
- POINT 3** 成長・発達に合わせて伝えたり手伝ってみよう
- POINT 4** 周りの環境を整えて、叱ることを減らしてみよう
- POINT 5** モチベーションアップの方法を考えてみよう
- POINT 6** 肯定形でわかりやすく、時には一緒に、お手本を
- POINT 7** 良いこと、できていることを具体的に褒めてみよう

詳しくはコチラ!

「体罰等によらない子育てのために
～みんなで育児を支える社会に～」
<https://www.mhlw.go.jp/content/11920000/minnadekosodate.pdf>



子育ての悩みがあるとき、または、虐待かもと思ったら、

最寄りの市町村の子育て相談窓口、または児童相談所虐待対応3桁ダイヤル「**189**」へ
(相談は匿名でも可能・通話料無料)

12月10日から16日までは

「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です

拉致問題など北朝鮮当局による人権侵害問題の一日も早い真相究明と全面解決のためには、一人ひとりがこの問題に対する認識を深めていくことが重要です。県では、拉致問題に対する県民の皆さんの関心と認識をより深めていただくため、関係機関と協力し、「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」を中心として、さまざまな啓発活動等に取り組んでいます。



「拉致問題の解決には「県民一人ひとりの声」が大きな力となります」

政府が認定している拉致被害者（17名）のうち、^{はら ただあき}原 勲晃さん（長崎県出身）は宮崎県内で拉致されています。また、昭和63年に行方不明となった^{みず いあきら}水居明さんをはじめ北朝鮮に拉致された疑いがある、いわゆる「特定失踪者」の県内関係者も4名おられるなど、本県も拉致の現場となっています。

拉致問題は、決してひとつとではありません。この機会に、拉致問題に対する認識を深めていただくとともに、拉致被害者の早期救出に向けて、県民の皆さんの温かいご支援とご協力をお願いします。

拉致問題に関するパネル展

期 間 令和2年12月7日(月)～12月13日(日)

会 場 県庁本館1階 展示スペース（宮崎市橘通東2-10-1）

Q.日本人拉致被害者は何人いるのですか？

A. 政府が認定している拉致被害者は17名。このうち5名の方は帰国を果たしましたが、12名については北朝鮮に残されたままです。ほかにも行方不明の日本人のうち、拉致の可能性が疑われる方が多くいます。

Q.なぜ日本人を拉致したのですか？

A. はっきりした真相はわかりませんが、朝鮮半島を統一する目的で韓国にスパイを送り込むために日本人を拉致したという説があります。北朝鮮のスパイが日本人になりすましたり、日本の習慣や日本語の指導役として日本人を拉致したというのです。

Q.どうなれば解決したことになるのですか？

A. すべての拉致被害者が帰国すること、北朝鮮が拉致被害の真相を明らかにすること、拉致を実行した者を日本に引き渡すこと。この3つを実現する必要があります。

Q.拉致問題解決のために、私たちに何ができるのでしょうか？

A. もしも自分が、自分の家族が、ある日突然連れ去られたら……。一人ひとりが拉致問題に関心を持ち、拉致は決して許さないという強い決意を表し続けることが、問題解決の大きな力となります。

出典：政府 拉致問題対策本部ホームページより引用・改編 <http://www.rachi.go.jp/>

北朝鮮による日本人拉致問題啓発DVDの紹介



アニメ『めぐみ』

昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の模様を描いたドキュメンタリー・アニメです。

企画・制作：政府 拉致問題対策本部



『拉致 私たちは何故、気付かなかったのか!』

横田めぐみさんの母親・早紀江さんが想い続けてきたこと、心の叫びを、数々の映像資料や撮りおろしインタビューで構成しています。

制作：『拉致 私たちは何故、気付かなかったのか!』制作委員会（代表幹事：日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合）

障がいのある人の 生涯にわたる学びの機会の充実 に向けて

宮崎県では、障がいのある人の多様な学習機会や誰もが共に学び合える場の充実などを目指して、本年度より文部科学省の委託を受けて「共生社会の実現に向けた生涯学習支援に係る実践研究事業」に取り組んでいます。

令和2年度の取組

推進体制の構築

特別支援学校、大学、専修学校、PTA、社会福祉協議会、企業、関係団体・法人、市町村・県の関係課から構成される「共生社会の実現に向けた生涯学習の充実のための推進協議会」を設置し、本事業の方向性等について協議しています。



調査研究

県内の実態を把握するため、以下の調査を行っています。



本人、家族・
関係者対象

生涯学習経験やニーズ、生涯学習に取り組む上での課題や期待すること等を質問

教育委員会・
社会福祉協議会
対象

各市町村の体制、講座や学習・体験プログラムの実施状況や実施希望等を質問

実践研究

関係団体や企業において講座や学習・体験プログラムを実施し、その取組について実践発表を行い共有します。また、県内の実践事例の収集を行い、調査結果を踏まえた新たなプログラムの開発に向けて取り組んでいきます。



普及啓発

県内外の実践事例発表やトーク・セッション等を内容とした九州・沖縄ブロックコンファレンスを開催し、目指す共生社会の姿について生涯学習の視点から考える機会とします。また、本事業に関する情報をホームページ等で積極的に発信していきます。



「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」
(九州・沖縄ブロック大会)

令和3年1月23日(土)
オンラインで開催予定

全国7ブロックで開催されるコンファレンスの九州・沖縄ブロック大会を宮崎県が主催して行います。

※ プログラムや参加申込方法等の詳細については、11月下旬頃に県生涯学習課ウェブサイト「みやざき学び応援ネット」等でお知らせします。

県の生涯学習の情報はこちら

みやざき学び応援ネット

新生涯学習総合情報提供システム

<https://www.sun.pref.miyazaki.lg.jp>

「障がい者の生涯学習の推進」に
関する情報はこちら(文部科学省)

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index.htm

お問い合わせ 宮崎県教育庁生涯学習課 生涯学習推進担当

TEL.0985-26-7245 FAX.0985-26-7342

子どもたち同士で助け合って、支え合って

～ピア・サポート活動の推進～

宮崎県教育委員会では、県内21校の小・中学校を推進校に指定し、同世代の子どもたちが互いに思いやり、助け合い、支え合う人間関係を育むための「ピア・サポート活動」を推進しています。

ピア・サポート推進校

● 平成30年度指定 ●

宮崎市立那珂小学校
日南市立榎原小学校
日南市立東郷中学校
都城市立妻ヶ丘中学校
えびの市立加久藤中学校
諸塚村立諸塚中学校
日之影町立日之影中学校

● 令和元年度指定 ●

宮崎市立櫛小学校
宮崎市立住吉小学校
国富町立八代中学校
高鍋町立高鍋西小学校
都城市立上長飯小学校
高原町立広原小学校
日向市立岩脇中学校

● 令和2年度指定 ●

宮崎市立宮崎中学校
宮崎市立久峰中学校
都農町立都農中学校
三股町立三股中学校
えびの市立上江小学校
延岡市立南小学校
門川町立門川小学校

思いやりにあふれた楽しい学校をめざして～高原町立広原小学校の実践～

高原町立広原小学校(西村さと子校長 児童数53名)では、自分自身を大切にしたり、友だちの思いや考えを理解したりすることのできる児童をめざして、授業や委員会活動、休み時間などの学校生活の中にピア・サポートを計画的に位置付けて実践しています。(写真は昨年度の取組の様子です)



体でじゃんけん

緊張をほぐし、楽しい雰囲気をつくります。



双方向のコミュニケーション

上手な話し方について、トレーニングしています。



なかよしドーナッツ

心をひらき、友だちとつながる体験を味わいます。



上級生による読み聞かせ

トレーニングの成果を発揮して、読み聞かせをします。

【ピア・サポート活動をととして】

- 学校が楽しいと感じる児童が増え、学校が居心地のよい場所となっています。
- 友だちに対して、思いやりのある言葉をかけたり、思いやりのある行動がみられたりするようになりました。
- 友だちを「○○さん」と自然に呼ぶようになり、相手を大切にしようとする意識が高まりました。



宮崎県「いのちを大切にす教育」

宮崎県教育庁人権同和教育課 TEL.0985-26-7252

11月25日~
12月1日

犯罪被害者週間

犯罪被害で受ける心の痛みは計り知れません。

犯罪被害に遭われた方やそのご家族等は、犯罪そのものによる直接的な被害だけでなく、

- ・事件に遭ったことによる精神的ショックや身体の不調
- ・捜査や裁判過程における精神的、時間的負担
- ・周囲の人々の無責任なうわさ話やマスコミの取材報道によるストレス等

様々な問題に苦しめられています。

犯罪被害者等への支援と理解について、この週間を機に皆さん一緒に考えてみませんか。

犯罪被害者の心に寄り添い、 途切れることのない被害者支援のために……

予期せぬ犯罪に遭遇してしまったときには、一人で抱え込まず、相談してください。

犯罪被害に関する相談ができる機関等をご紹介します。



犯罪被害者等支援
シンボルマーク
ギュっちゃん

公益社団法人 みやざき被害者支援センター

みやざき被害者支援センターは、宮崎県公安委員会から「犯罪被害者等早期援助団体」として指定を受け、事件発生直後から要望があれば警察と連携し、被害者等に寄り添った支援を行っています。

● 一人で悩まず、相談してください ●

※電話相談・面接相談 月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）

相談電話 **0985-38-7830**

全国共通ナビダイヤル **0570-783-554**

相談は無料です。秘密は、厳守されます。

そのほかにも、病院や警察署、裁判所等への付添などの直接的支援や、弁護士や臨床心理士等の専門家による支援（要予約）、関係機関団体との連携による支援、自助グループへの援助を行っています。

警察における相談窓口

宮崎県警察においては、以下の相談窓口があります。まずは、相談してください。

相談機関	電話番号	相談内容
警察安全相談	☎0985-26-9110 (#9110)	各種相談
性犯罪相談ダイヤル	☎0985-31-8740 (#8103)	性犯罪被害に関する相談
ヤングテレホン	☎0985-23-7867	犯罪被害少年の相談
暴力ホットライン	☎0985-27-7110	暴力団犯罪に関する相談
悪質商法110番	☎0985-22-8080	悪質商法に関する相談
犯罪被害者支援室	☎0985-31-0110 (警察本部代表電話)	犯罪被害に関する相談

総合相談窓口

県や市町村に、犯罪被害により生じた生活上でのお困りごとなどの相談を受ける窓口があります。

総合的対応窓口

検索



犯罪に遭われた方の現状や遺族の想いを知ってもらうために……

家族への想いや命の尊さ、遺族の想いについて考える機会として、中学校及び高校で遺族等による講演会「命の大切さを学ぶ教室」を開催しております。中学校及び高校で、この教室の開催を希望されるときは、下記にお問い合わせください。

お問い合わせ (公社)みやざき被害者支援センター ☎0985-38-7831

身近な人の温かい心配りが何よりも心の支えとなります。

犯罪被害は、誰にでも突然、起こる可能性があります。

社会全体で被害者等を支え、犯罪のない安全で安心できる地域社会を目指しましょう。

性的マイノリティと人権

～性の多様性を正しく知ることが大切です～

世の中では、「性別は男と女だけである」とか、「異性を愛するのが普通だ」といった意識や制度があり、「性(セクシュアリティ)」について社会の理解が十分に進んでいない中、偏見や差別、いじめにより、性的マイノリティの方々が生きづらさを感じている現状があります。

姿、価値観、感情などが人によって異なるように、人間の「性」は2つのパターンに分けられるほど単純なものではありません。「性」は多様なものです。

✿「性」の構成要素について

- 身体の性(生物学的な性)
…どんな形や見た目の身体をしているか
- 心の性(性自認)
…自分の性別をどう考えているか
- 好きになる性(性的指向)
…誰を好きになるか
- その他、「女は女らしく、男は男らしく」などの社会的・文化的性や、言葉遣い、しぐさ、服装などの性別表現もあります。

✿ いろいろな「性(LGBTs)」について

【好きになる性(性的指向)】

女性の同性愛(レズビアン)や男性の同性愛(ゲイ)、両性愛(バイセクシュアル)など。

【心と体の性(性自認)】

心と体の性に違和を感じるトランスジェンダーや自分の性が定まらないエックスジェンダー、自分の性別が分からないクエスチョニングなどがあります。

※性は本人の意思で選んだり、変えたりできるものではなく、その人が持って生まれた大切な個性です。

≫ あなたが気づいていないだけかもしれません

「自分の身近には同性愛の人はいない」と思っている人は、職場や学校で無意識のうちに隣の人を傷つけているかもしれません。さまざまな調査から、性的マイノリティの方は人口の5～10%と推定されます。性的マイノリティは特別な存在ではなく、多数派か少数派かというだけのことです。

カミングアウトされたら

もし、家族、友人、同僚などから「同性愛なんだ」「トランスジェンダーなんだ」と打ち明けられたら…。

それは、本人にとってとても勇気がいることで、あなたを信頼して打ち明けてくれたことを理解しましょう。大切なことは、真摯にその人の話に耳を傾けることです。

アウティングは人権侵害

もし、本人が求めてもいないのに、よかれと思って親や職場の上司、学校の友人などに相談(暴露)することは、重大な人権侵害となります。

本人の了解なしに、決して他の人に話さないようにすることが大切です。

人が幸せに生きるための権利「人権」は、誰もがもつ大切な権利です。性的マイノリティの方も含め、誰もが「自分らしく生きたい」と願っています。

「性」のありようは自由かつ多様で、少数派だけではなく全ての人にかかわることです。誰もがそれぞれの「性」を尊重され、自分らしく生きることができる社会が望まれています。



12月4日から12月10日は人権週間です！



「第72回人権週間」

「人権啓発パネル展」

人権週間における取組として、「人権週間啓発パネル展」を行います。その中で県内の児童生徒による人権作品の展示や、宮崎地方法務局による「ハンセン病患者等と人権」に関するパネル展示も行います。

会場には、2021年版の人権カレンダーや、各種人権啓発資料も取りそろえておりますので、ご自由にご覧いただき、必要なものについては、お持ちください。

主 催

宮崎県・宮崎県人権啓発推進協議会、宮崎地方法務局・宮崎人権擁護委員協議会、
宮崎県人権啓発活動ネットワーク協議会

期間・場所

- ① 11/26(木)～12/6(日) 宮崎県立図書館1階ギャラリー
- ② 12/7(月)～12/13(日) イオンモール宮崎レストランコート

「わたしたちの人権講座」

**参加
無料**

「人権ってなんだろう?」「人権ってむずかしそう!」と思っている方が多いのではないのでしょうか。人権週間を機会に、ぜひ人権について学びませんか。宮崎県人権同和対策課の啓発・研修担当が分かりやすく人権の基本についてお話しいたします。

テーマ

「身近な人権問題について ～いろんな見方ができる人は誰かの味方になれる人～」

人権啓発DVD「親愛なるあなたへ(36分)」の上映

期 間

- ① 11/27(金) 13:30～15:00
- ② 12/4(金) 13:30～15:00

※両日とも同じ内容です。ご都合のよい日をお選びください。

場 所

宮崎県立図書館 2階 研修室
〒880-0031 宮崎市船塚3-210-1

定 員

14名

※どなたでもご参加いただけます。

※当日参加も可能ですが、定員を超えた場合はお断りすることがございます。

※マスク着用、検温、
アルコール消毒の
ご協力をお願い
いたします。

お問い合わせ

宮崎県人権同和対策課 啓発・研修担当

住 所 〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号
TEL.0985-32-4469 FAX.0985-32-4454
メールアドレス jinkendowataisaku@pref.miyazaki.lg.jp

活用してください！宮崎県人権啓発センター

宮崎県人権啓発センターでは、個人や企業、民間団体等を対象にさまざまな活動を行っています。皆様のご利用をお待ちしています。

研修会を
実施しています！

人権担当者講座や県民人権講座、人権ファシリテーター養成講座などを開催しています。

人権に関する相談を
受けています！

人権啓発専門員が人権問題についての相談に応じます。
専用電話 ☎0985-26-0238

ほかにも、人権啓発資料の作成、ホームページでの情報提供、図書・DVD等の貸出（下記）も行っています。

講師の派遣や
紹介をしています！

企業や民間団体、家庭教育学級等の研修会への職員派遣や、外部講師の紹介を行っています。

わたしたちの人権講座を
開催しています！

センター研修室での人権講座を開催しています。



ジンケンジャ

宮崎県人権ホームページに
アクセスできます ▶▶▶



図書・DVD等を貸し出しています

当センターでは、人権に関する図書やDVD等を無料で貸し出しています。個人はもちろん、学校の授業や職場の研修等にご活用ください。貸出利用登録の手続きについては、センターにお尋ねください。

◇貸出冊数及び貸出期間

図書	貸出冊数：3冊以内	貸出期間：14日以内
DVD等	貸出本数：3本以内	貸出期間：14日以内
機材	貸出期間：14日以内	（機材…DVDプレーヤー、プロジェクター、スクリーン）

◇図書・DVD等について

ライブラリー所蔵の図書・DVD等の種類・内容については、「宮崎県人権ホームページ」に掲載していますので、ご参照ください。また、在庫確認のため、貸出申込みの前に、当センターへお電話くださるようお願いします。

360°カメラで
見学しよう！



お気軽に
ご利用ください！

じんけんクイズ

（一社）宮崎県トラック協会が取り組む、新型コロナウイルス感染者等への差別をなくす運動の名称は？〇〇リボンプロジェクト

A スリー **B シトラス** **C グリーン**

ページのどこかにヒントがあるよ！

アンケートハガキに答えと必要事項をご記入の上、お送りください。正解者の中から抽選で5名の方に、人権啓発グッズを進呈いたします。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。
応募締切：令和3年2月27日（当日消印有効）

読者の
VOICE!

- 〇 イラスト等を沢山取り入れてあり読みやすいです。
- 〇 情報の多い世の中で、1人1人の気持ちにゆとりがないと相手への思いやりも忘れがちになってしまふ。
- 〇 ネット用語について初めて知った部分もあり、このような具体的なことを今後も発信して欲しい。

編集後記

常にマスクをつけていることも、行く先々で手指消毒を徹底することも、いつの間にか当たり前になりました。ウイルスに感染した人を思いやることも、より当たり前になっていけば良いと思います。（大）

宮崎県人権啓発センター

宮崎市橋通東2-10-1 県庁8号館6階
（宮崎県人権同和対策課内）

TEL.0985-32-4469

FAX.0985-32-4454

情報・ご意見などを
お待ちしております。

<http://www.m-jinken.jp/>

